

新型コロナウイルス感染対策に関わる緊急要望を提出しました

愛知県保険医協会は開業医を中心とする医師・歯科医師の団体で、愛知県内内科開業医の8割、歯科開業医の6割にあたる9,160人の医師・歯科医師が加入しております。

この度、新型コロナウイルス感染拡大が県内の医療機関にどのような影響を及ぼしているか明らかにするため、当協会では会員に対してアンケートを実施しました。アンケートでは、ワクチンや感染防護具の安定供給に対する要望や入院が必要でもできない状況など様々な声が寄せられました。個々の医療機関は地域医療を支えるために懸命の対応をしていますが、感染の再拡大などを想定すると状況は深刻です。

愛知県保険医協会では、国や愛知県に対して、以下のような対応を至急実施するよう要請しました。

10月31日は衆議院議員総選挙です。健康で安心して暮らせる世の中にするために、投票に行きましょう。

記

「原則自宅療養」方針撤回を

1. 新型コロナウイルス患者さんの療養について、「原則自宅療養」の方針を撤回し、希望する全ての患者さんが施設などで療養できる体制を早急に構築してください。

臨時医療施設などの体制整備を

2. 新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、臨時の医療施設なども含め入院が必要なすべての患者さんが入院医療を利用できる体制を早急に構築してください。

病床削減計画は撤回を

3. 新型コロナウイルス感染症の拡大で日本の医療提供体制が絶対的に不足していることが明らかになりました。しかし、政府は病床削減の計画を粛々と進めようとしています。地域医療構想など病床の再編・統合の方針は直ちに撤回してください。少なくとも、新型コロナウイルス感染症の影響の検証が終わるまで、計画を凍結してください。

全医療機関対象に減収補填を

4. 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで医療機関への影響は深刻です。すべての医療機関が地域医療を守るために必死の努力を続けています。すべての医療機関を対象に減収分の全額補填など医院経営を守るための措置を実施してください。

必要な人すべてに検査拡充を

5. 今年夏以降の感染再拡大では陽性率が大きく上昇し、検査が感染状況に追いつかない状況となりました。感染拡大時に必要なすべての人に検査が行えるよう、検査体制を抜本的に拡充してください。

保健所・保健センター体制拡充を

6. 今年夏以降の感染再拡大では積極的疫学調査が困難になるなど、保健所・保健センターの体制も危機的な状況となりました。感染再拡大に備えて、保健所・保健センターの体制を早急に拡充してください。拡充は時限的ではなく恒久的なものにしてください。

ワクチンの安定供給を

7. 個別接種をすすめるにあたっては、ワクチンの安定的な供給を確実に行うとともに、医療機関の報告・請求などの業務を簡素化し、医療機関の負担を軽減してください。

感染防護具の安定供給を

8. 診療やワクチン接種を行う際に重要な感染防護具が医療機関に安定的に供給されるようにしてください。